

2008年8月11日
大日本スクリーン製造株式会社

2009年3月期第1四半期決算説明会 Q&A

Q. 半導体製造装置の受注状況について知りたい。

A. 2008年4～6月期の受注額は想定よりも増加し、299億円となりました。7～9月期の受注額は、メモリーメーカーによる投資再開の動きやロジックメーカーの堅調な設備投資が予測されることから、一段の増加を期待しています。ただし、当社がターゲットとする四半期受注額400億円への回復は下期以降であると予想しています。

Q. FPD製造装置の受注状況について知りたい。

A. 2008年4月～6月の受注額は288億円と高い水準を維持しました。一部、前倒しで受注した案件もあり、7～9月の受注額は減少すると予想していますが、上期合計としては期初予定通りです。

Q. 「Truepress Jet520」などインクジェット印刷機の販売状況は？

A. インクジェット印刷機の売上は順調に推移しています。中でも、バリアブル印刷機「Truepress Jet 520」は、画像情報処理機器事業全体に占める割合は小さいものの、前期と今期の上期を比較して、出荷台数が1.5倍に伸びる見込みです。また、グループ会社のインカ・デジタル・プリンターズ株式会社が製造する、産業用大型インクジェットプリンター「Onset」の売上も着実に伸びており、今後のさらなる売上拡大が予想されます。

Q. 有機EL関連装置の売上が寄与するタイミングは？

A. 現在のところ、2010年100億円の売上を予測していますが、お客さまからの評価も高く、納入時期が早まる可能性があります。有機ELディスプレイ製造装置については今後の事業展開に大きな期待を持っています。

SCREEN